

もう転校はしなくて OK!!! 悲しいからHAPPY!!!気分 転向カメラ

奈良県

四年 原英汰さん 二年 原光汰さん



★どうして「もう転校はしなくて OK!!! 悲しいから HAPPY!!! 気分 転向カメラ」を作ろうと思ったのですか？

お父さんは2年に1回全国のどこかに転勤をします。お父さんと、はなれたくないのですが、2年に1回学校を転校します。でも、お友達とお別れすることがつらいし、この先生じゃないと嫌だみたいな気持ちがあった、このカメラを思いつきました。

引っ越しをしても転校しなくて良い方法として、どうしてワープを思いついたのですか？

友達がすごく優しく、もう

今までにないぐらい。もう本当に仲良くて。いい友達で。気が合っていて、好きなものも似て、すごく話しやすい。いい友達だったんですけど、転校するってなったら、もう離れたくないけど、お父さんとも離れたくないってなって。そこが凄く迷いました。

ワープできれば、引っ越しをしても、前の学校に通えて、友達とお別れしなくてもいいし、お父さんともずっといっしょに住めるからいいなと思いました。あと、教科書のクラスをかえなくていいし、新しい体着を服を買わなくていいから、お金の

ムダにならないからです。

英汰さんに質問です。教室がぐるっと回るような作品でしたが、これは主にお兄さんの英汰さんが工事を担当したのですか？

いえ、僕が3年生のときにこのようにぐるっと回転させて作る作品に取り組みました。それを思い出しながら僕が仕組みを考えて「こうしたらどうかかな？」と弟に提案して一緒に作りました。

光汰さんに質問です。今回の作品を作るのに色々切ったり、貼ったり、塗ったり、変えたりしましたか？

はい。僕は絵をかく担当だったので何回も書いたり消したりしました。僕が最初にかいて、お兄ちゃんのアドバイスを受けて書き直しをくり返して完成させました。

工作ではどんな道具を使うのが好きですか？

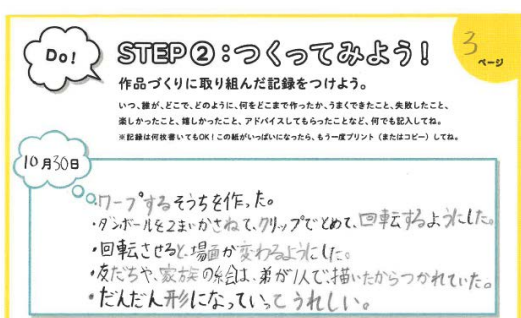
はさみです。
今回の作品以外にどんな物を作

りましたか？

切り絵を作ったり、折り紙で自動販売機を作ったりしました。

すごいですね。お兄ちゃん(英汰さん)はどうですか？

僕は、工作が苦手です。



でも、カメラや帽子の担当でしたね。

そうですね。仕組みを考えるのは好きなんですけど、手先があまり器用ではないので、それを表現するのがあまり得意ではないです。

普段から兄弟でいろんなことを話しながら作品を考えたり作ったりしているんですね。今回、子どもアイデアコンテストに出品したきっかけを教えてください。

ホンダのお店に車を見に行つたときに、チラシが置いてあって、そのチラシを見たときに、僕たちが転校しなくて済む道具がほしいよねと話していたのがきっかけです。

今日はとてもリラックスしているように見えますが、最終審査会でのプレゼンのときはどうでしたか？

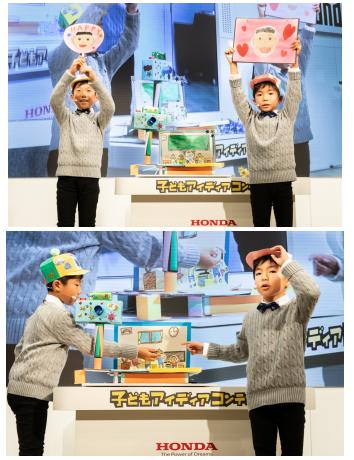
すごくカメラがあつて、テレビにも映っていて緊張しました。みんながすごすぎて、本当にうまくできるかな?と迷っていました。

英汰さんに質問です。発表の後に気持ちが変わったところなどはありますか？

アイデアコンテストに出る前に、すごく恥ずかしがり屋で、人前でも話せない感じだったんですけど、まあ、アイデアコ

僕はやればできる！

「悲しい」から「ハッピー」に変わって
最後は「ハッピー」で終われた！



ンテストをやり切った後は、すごく自分に自信がついて、なんか僕もやればできるんだっていう気持ちになりました。最近では学校の全校集会とかでも、感想の時とかに、全校生徒の前で手を挙げて発表できたりしたので、そこが変わった部分かなと思います。

光汰さんはいかがですか？

僕は、お兄ちゃんと同じで発表する前はすごく恥ずかしがりやで、人の前では全然声も出せなかったで、ちゃんとできるかなと心配だったけど、最後審査会が終わってちゃんと明るく、悲しいからハッピーに変わって、最後ハッピーで終われたかなと思えました。

二人ともすごいですね。素晴らしいですね。ここまでやるのは初めてだと思いますが、どのぐらい練習したんですか？

何回も何回も練習して、お母さんに動画を撮影してもらって、終わった後にその動画を見て、だめだった場所をまた直して、もう一回撮影してまた直

て、もう一回撮影してみたいな。そんな感じでした。

練習した後、家族みんなで作戦会議をしたんですか？

はい、ここがダメだったね、次こうしようみたいな。

どこを一番直しました？

せりふをかみやすかったので、そこをちゃんと気を付けたら、道具を動かすときに、動かしすぎないようにしたり、また、カメラをスライドさせすぎたりしないとか、そういうところですよ。話し合っってそういう部分を何度も練習しました。

お母さんから見られて、お二人の様子はどうのように映っていましたか？

お互いに、苦手な部分と得意な部分を生かしながら、助け合いながら練習していました。その時もけんかになることはなくて、「こうしたらいいよね」「もうちょっとゆっくり言ってみて」など、お互いにアドバイスし合いながらできていたので頼もしく見ていことができました。

まさにチーム原になっていますね。けんかもせずやりきることでできた理由は何かと思われませんか？

自分たちが考えたアイディアが本当にできたらいいなあっていう思いを持ちながら、形を作っていくっていう同じ目標があったので、やりきれたのだと思います。

発想を豊かにするような普段の言葉かけや取り組みを何かかかれていますか？

本は、集中すると人の声も聞こえないぐらいになります。そのような本は学校の図書館で自分たちが好きなものを選んで借りてくるので、私が特にこれ読んだらなどと勧めることはあまりありません。

工作も弟なんかはペットボトルのキャップがあったら船を作りはじめます。それにお兄ちゃんが一緒にあって、作り方を教えてって言いながら、列車みたいな感じで作ります。

折り紙もすごく得意で好きなので、もう弟主体でいきなり折

り紙教室みたいな感じで始まります。

あやとりのときは、材料は私が提供するんですけど、やり方については、自分たちで「お母さん、あやとりの本買って」という感じで言うてきます。

本が届いたら、もう没頭して取り組みます。自分たちで自由にやってるっていう感じがですね。

今日は、発表会の時とちょっと違ってリラックスした顔が見られて良かったです。でも、発表会でも二人ともとっても息が合ってたし、上手でしたよ。

英汰君、光汰君、今日は本当にありがとうございました。

▼あとかぎ▼今回の作品は二人の「転校したくない」という強い思いが形になり、それに工夫や改良を加えながら素晴らしい作品になったことがよくわかりました。(NH、MK)